

## 2020 年度実施概要

学校名

鹿児島県立与論高等学校

採択活動名

ユンヌの海から世界へ

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
総合的な探究の時間「ゆんぬ」	1・2年	総合的な探究の時間

取り組みの概要

## 1 はじめに

与論高等学校では総合的な探究の時間「ゆんぬ」を中心に、1，2年生がそれぞれ探究活動に取り組んだ。海洋教育パイオニアスクールプログラムの指定を受けて2年目となる本年度は、昨年度の活動を踏まえつつ、さらなる探究活動の深化に取り組むたいと考えていたが、新型コロナウイルス感染症のため、年度当初の予定を大幅に変更せざるを得ない状況であった。しかし、そういった環境の中で、オンライン授業の実施など新たな方法での活動も模索しながら学びに向かうことができた。

## 2 海洋教育の実践例（総合的な探究の時間「ゆんぬ」において）

## (1) 東京大学田口先生によるオンライン授業の実施

9月16日に、1年生を対象としたオンライン授業を実施した。【探究とは何か？】を主題に、「問題を考える 時代への変化」、「調べ学習と探究学習の違い」、「テーマ設定の方法」、「問いの深め方」、「探究の方法」など、探究活動の基礎となる様々なことを話してくださった。生徒たちにとっては初めてのオンライン授業で戸惑う様子もみられたが、今後の活動をしていく上で大変参考になる授業だった。



## (2) 中間発表会

10月28日に、それまでの活動の報告の場として中間発表会を実施した。それぞれの会場で、1年生はグループごとにまとめたポスターを利用した発表、2年生は個人での活動を報告した。地域サポーターの方々を中心に、外部の方に来ていただき質問やご意見を多数いただき、これまでの活動を振り返るとともに、今後の改善点やさらに探究を深める必要がある事柄などを知ることができ、とても有意義な会となった。



## (3) 校内発表会

1月15日に、今年度の活動のまとめの場として、校内発表会を実施した。今回は1，2年生とも同一会場で実施し、第1部を、スライドを利用した1年生の発表、第2部を、2年生の個人発表として行った。中間発表に続き、地域サポーターの方々を中心に外部の方にアドバイザーとして参加していただいた。相互に発表を見ることで、新たな気づきや他者の視点など、今後の探究活動をする際のヒントを得ることができる機会になった。



## (4) フィールドワーク

各自が設定したテーマに取り組む中で、本や資料などの調べ学習では得られないこと、与論での実際などを調査するために、放課後等の時間も有効活動しながら、地域の方々に話を聞いたり、インタビューを行ったりした。田口先生のオンライン授業でも学んだインタビューする際に心がけることを意識しながらフィールドワークの活動を行う中で、調査したことの裏付けや、与論では異なること、生徒自身も知らなかった地域のことなどを知ることができ、とても参考になった様子であった。

## 3 おわりに

新型コロナウイルス感染症の影響で、休校や様々な制限がある中での取り組みとなったが、オンラインでの授業など新たな形態の活動も行うことができた。また、発表会やフィールドワークを通して、地域の方々に助言をいただいたり、取り組みを知っていただいたりすることもできた。今年度の取り組みを踏まえて、各学年での系統的な学びの形態をより明確化していきたい。そして、地域サポーターをはじめとした地域の方々との連携も強化し、生徒の学びをより深めていけるようにしていく必要がある。